



OCHIHOKAI

落穂会だより

社会福祉法人 **落穂会**

2023年
144号

令和5年10月1日
発行

- 
- P1. かがしま錦江湾サマーナイト花火大会
 - P2. 6月・7月職員会議園内研修 特別企画
 - P3. 「利用者・保護者の声を聴こう！」
 - P4. My Field (マイフィールド)
 - P5. さんぼみち
 - P6. SNAPスナップ
 - P7. TOPIX (トピックス)
 - P8. ベーカリー楓 「ほくのナンシリーズ」
Cafe NODOKA 「スープカレー」
あすもね家 「わサンデー」
ぎやらりーASAHIYA 「ポーチ」

6月

特別企画①

利用者の声を聴こう！

グループホームあさひが丘
統括主任 八反田憲治

【今回の研修】

「利用者の声を聴こう」～ライフステージに応じた支援に繋げる～と題して、令和5年6月29日の月例職員会議に於いて、あさひが丘グループの福祉サービスを利用している利用者の方々の声を聴く機会を設けました。

児童期、青年期、壮年期、高齢期の利用者の方々8名のお話を伺いました。

【利用者の声1】（ビデオ録画）

あさひが丘学園：嶋本こころさん

「一人が好き」、「コミュニケーションは苦手」と話していましたが、入所施設の中で信頼できる友人と出会えたことや、現在、高等部3年生になって、産業現場等実習を経験し、将来の進路を見据えていました。生活の中で、調理を経験したことで自分に合っていると感じ、将来は調理を行う事業所への進路を視野に入れていました。生活の場所は、一人暮らしができるグループホーム。「静かな環境が好き」と話し、理想の職員像についても教えてくれました。「優しい、包容力がある、穏やか、誠実、自分の意見を言える人、家族思い」コミュニケーションは苦手と話していましたが、自分の考えを自分の言葉でしっかりと伝えてくれました。



嶋本こころさん

【利用者の声2】（ビデオ録画）

グループホームももか：西田真美さん

緑ヶ丘町のグループホームで生活している西田さん、便利なグループホームの条件は、「交通の便が良い」、「買い物の行きやすさ」。「でも、かなりの方向音痴なので、不慣れなところは、グループホームの仲間と外出することが安心」と共同生活の利点も教えてくれました。株式会社東臣で調理補助として働いていますが、食器洗い洗浄機のスチームは熱く、夏場の業務は大変と話しながらも、その業務を行う人は皆大変だから大丈夫です。と周囲の方への気遣いも忘れていません。今は、共同生活が自分の生活に合っていること、YouTubeで「もちまる日記」を見ると癒されるとインタビュー後は直ぐに視聴開始、満面の笑みを浮かべていました。

【利用者の声3】（登壇2名）

グループホームももか：今辻理奈さん、グループホーム花梨：上村ヨシ子さん

こちらの2名は緊張の中、職員の前に登壇してくださいました。理奈さんは就労継続支援A型事業所「和っ葉」で働いて5年目。お客様へ食事提供をする際に忙しい時間帯は、焦ってしまうことや、技術向上のためにチャレンジしていることを話してくれました。上村さんは、現在デイサービスに通い、地域で開催される「よかよか体操」にも通っていますがそこでの交流のひとつがとても充実していることや、これまでに経験した仕事のこと、仕事での困りごとなど過去の経験を交えて話をして下さいました。



上村ヨシ子さん

【利用者の声4】（ビデオ録画）

グループホームももか、利用者6名の方々は、通所、就労先の業務内容、「推し活」、支援者の条件について、話をしてくださいました。「推し活って何？」という支援者の質問から始まり、支援者に求めることは、「話を聞いてくれる。」こと。支援者の私への評価は「まだまだ足りない（笑）。」と厳しいご指摘でした。

※「推し活」・・・自分が好きなもの（＝推し）を応援する活動のこと



ももかのみなさん



研修を終えて

利用者の方々の声を聴くことはとても大切なことだと改めて気づきました。支援者それぞれの立場で、目の前の利用者の方々と向き合い、利用者の声を聴き、支援に活かしましょう。

7月

特別企画② 保護者の声を聴こう！



令和5年7月18日、職員会議の特別企画として、日頃なかなか聴けない保護者の「本音」を聴く機会として、「保護者の声を聴こう！」というテーマのもと、現在、落穂会のサービスをご利用いただいている、大辻桜子さんのお母様と川畑豪大さんのご両親をお招きし、これまでの子育てや落穂会への期待等について、お話をいただきました。

当日の様子

1) 大辻由佳さん（大辻桜子さんのお母様）へのインタビュー

現在利用しているサービス：放課後等デイサービス我路

桜子さんは幼少期、保育園と児童発達支援センター歩路を併行通園されていきました。保育園生活を通して感じたこと、就学する時に考えたこと等についてお話をいただきました。鹿児島特別支援学校に入学した頃、毎日泣いている桜子さんをお母様やおばあ様はとても心配されていましたが、放課後等デイサービス我路を利用し、職員から桜子さんの様子を教えてもらえることで、安心して預けていたとのことでした。



大辻桜子さん 大辻由佳さん

お母様はさまざまな場面で、「桜子さんはどんな気持ちだろうか?」「私だったらどう思う?」と自身に問いかけながら、桜子さんの代弁者として、桜子さんが安心して過ごせるようサポートされているとのことでした。

落穂会を利用していただく中で、「とても信頼している。これから先も利用していきたいと思っているため、プロフェッショナルでいてほしい。」とのことばをいただきました。

2) 川畑岩夫さん、リン子さん

(川畑豪大さんのご両親)へのインタビュー

現在利用しているサービス：グループホーム夕陽丸、生活介護（日中2科）

豪大さんは幼少期、とても活発でたくさんお話をするお子さんだったようです。お母様は豪大さんに必要な支援を受けさせたいと思い、さまざまな機関を利用され、発達支援に力を注がれていました。しかし、お母様の持病もあり、体調が思わしくない中での子育てはご苦労も多かったようです。あさひが丘学園に入所した頃、久しぶりに会う豪大さんの姿を見て、「すぐにでも連れて帰りたい。」と涙を流されていたことやその当時のご家族の心情をお話いただきました。



川畑岩夫さん



川畑リン子さん

入所後～現在も頻繁に面会に行く機会をつくられており、その際、職員から豪大さんの様子やエピソードを聞くことがとても楽しく、ご両親にとって安心感に繋がっており、豪大さんの生活拠点である、グループホームでの生活に大変満足されているとのことでした。

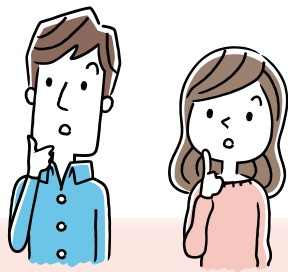
豪大さんのこれからについて、「健康に気を付け、穏やかな生活を送ってほしい。」、また職員に向けて、「支援される方は、豪大のこと（好きなこと、苦手なこと等）を知り、寄り添ってほしい。」とお話いただきました。

落穂会の職員として

この対話を通して、利用者やご家族の思いを聴き、その背景を知ることの大切さを学びました。落穂会と繋がる利用者・ご家族が安心して生活を営めるように、笑顔ある暮らしを支える「良き隣人」として、日々、丁寧な支援を積み重ねていきたいと思えます。

児童発達支援センター歩路
支援課長 北園さやか





マイ フィールド My Field



第二旭福祉センター

生活支援員

萬造寺 早紀 (21歳)

(令和2年入社)

Q 1 それでは自己紹介をお願いします。

萬造寺早紀です。血液型はB型。串木野出身です。

Q 2 ありがとうございます。今勤務してどのくらいですか？

3年経ちました。今年が4年目です。

Q 3 そうなんです。今どのようなお仕事をされていますか？

菓子班でパンやお菓子を作っています。他にも利用者の勤務表や月案の作成などを任されています。

Q 4 旭福祉センターに就職した経緯を教えてください

自分に何ができるかって考えたときに、自分の興味がある福祉の分野で仕事を探してみようと思って旭福祉センターを見つけました。

Q 5 なるほど。それまで福祉に携わったことはありましたか？

中学校の頃に体験学習で介護施設に行った経験があります。

Q 6 そうなんです。その経験が福祉の仕事の決め手になったんですか？

いやー、どうですかね？

Q 7 え？違うんですか？

それより小学校の頃によく一緒にいた子が障害をもっていったということが大きかった気がしますね。この仕事を決める時によくその頃のこと思い出していました。

Q 8 なるほど。その経験が今活きていると思うと感慨深いですね。今のお仕事で一番やりがいを感じることはどこですか？

移動販売の時にたくさん買ってもらえると利用者と一緒に頑張って作ってよかったなあって思います。

Q 9 頑張りが認められると嬉しいですね。ちなみに萬造寺さんのおすすめの商品は何ですか？

ウイナークロワッサンが好きです。たくさん作っていないので店頭に並んでいたらレアですよ(笑)

Q 10 ウイナークロワッサン私も好きです！ いつもないんですよ…。それでは次の質問にいきましょう。今の仕事の目標は何ですか？

これから後輩が入ってくると思うので、しっかり教えられようになりたいです。

Q 11 今の自信の程はどうですか？

まだ後輩ができていないから未経験なんですよ。自信は…ありません(笑)

Q 12 大丈夫ですよ。萬造寺さんなら…。きっと…。えーと話題変えますね(;'▽')休日の過ごし方はどうしていますか？

SNSをよく観ます。Youtubeのショートとかわかりますか？それをよく観てます。

Q 13 へー。どんなものを観ているんですか？

恥ずかしいです。教えません(笑)

Q 14 逆に気になるな。えーと。外出とかはしないんですか？

あまり家から出ないんですけど、この間スタバの新商品の「スイカフラペチーノ」がおいしいから飲んでみてと利用者の女の子から言われて徐々に飲みに行きました。スイカと違って普段頼まないですけどおいしかったですよ。

Q 15 夏らしいことしてるじゃないですか。まだまだコロナが落ち着きませんが、コロナになってから変わったなと思うことはありますか？

とにかくマスクが暑いです。早く終わってほしいです。

Q 16 そうですよ。はやく終息しますように…。そういえば絵が得意と聞きましたが絵を描いたりしているんですか？

絵を描くことは好きです。前はよくキャラクターのイラストを描いたりしていました。

Q 17 へー！そうなんです。今も描いたりしていますか？

プライベートではあまり描いてません。仕事では店舗のボードに描いたりしてますよ。チョークで描くやつ。

Q 18 あー。飲食店なんかの入り口によく置いてあるやつですね。確かにNODOKAや楓のイラストは上手ですよ。好きなことが仕事になるといいですよ。今後そういう絵の勉強とかしたいですか？

そういう研修とか教室とかあったら受けてみたいです！

興味のある研修とかがあるといいですね。これからもどんどん技術を磨いていってくださいね。ありがとうございました。

グループホームあさひが丘
(ももか)

今辻 理奈 さん
(23歳)



Q 自己紹介をお願いします。

A 今辻理奈です。

Q 普段はどのように過ごしていますか？

A ももかでは、テレビをみたり、Mちゃんとお話しています。

Q どのような話をしますか？とても仲が良いですね。どのようなきっかけで仲良くなったのですか？

A Mちゃんにちょっかいだしたりて、Mちゃんの人柄にひかれて… (仲良くなりました)。

Q お仕事は何をしていますか？

A 「わっぱ」というところで働いています。お弁当製作やランチの準備をしています。楽しいです。(わっぱで働いて) 4～5年経ちます。

Q 毎年アビリンピックに出場し、わっぱの職場の方も応援にきてっていますが、アビリンピックに出ようと思ったきっかけを教えてください。

A 高等部の時に(アビリンピックを)知って、出場しました。どれくらいできるか(試したくて)毎年出しています。

Q 今一番楽しみにしていることはありますか？

A 9月9日に(福岡に)旅行に行くことが楽しみです。交流会みたいなものがあって、初めての参加です。Mちゃんももかみんなで行きます!!

Q 福岡の交流会楽しみです。最後に今後やってみたいことや将来の夢を教えてください。

A いつかは一人暮らしと一般企業で働きたいです。お金と料理をがんばって、いつかは。



これからも応援しています。今日はありがとうございました。

「混沌の中の幸せ」

障害者支援施設あさひが丘 保護者 山田 麻里子さん

自己決定したわけではないのに、なぜかこの世に存在することになった。私たちは、更に何らかの制約を課せられて生きていかなければならない。

我が家の長女として授かったはるかには知障と自閉の困難を負う運命が課せられていた。愛らしさと清らかさの極致のような存在だったが、束の間よぎった憂いの影。その小さな不安が増大し経験も判断も未熟だった私には、はるかのとらえどころのない行動は息をすることも苦しく感じる程の混乱をもたらしました。それでも、うまくかわしたりいなしたり不動心的なものが自分の中に育っていたのですが、何よりはるかの喜色満面の表情には私の気持ちを立て直させ奮起させる力を持っているのです。

悩ましかったのは、親子間に距離が無く密着しすぎはるかの特性の困難に屈服することが多く互いに良い関係とは言い難いと思っていた頃、思いがけない突然の主人の急逝。次女、長男の精神の不安定もあり通所から入所へ。

当日送って行った後の車中は、固く閉ざした胸の中に溜まっていた長年の涙が、せきを切ったように流れ出しました。私たち親子の次のステージが始まったんだ。そう思えました。

その日からゆっくり時が蛇行しながら流れ、十数年が過ぎようとしています。帰省で戻ると、相変わらず意図せず主導権がはるかに奪われ、理不尽な立場に追いやられることが多いのですが、適度な距離間が寛容を生じ親子のひとときの時間が愛しく思えます。頑固な自閉傾向も学園の流れに妥協し安穩に暮らしているようです。これからも健康で幸せな毎日を送ってくれる事を願っています。

末筆になりますが、平穏な日常が戻りつつありますが、コロナのピーク時は想像に難い対応たいへんだったと思います。集団生活を維持させるためにどれ程の刻苦があった事か。改めてプライドを持って手厚く支援してくださる姿には頭がさがります。学園の先生方には感謝の言葉が尽きません。

ふれあいスポーツ大会

9月17日(日)に利用者31名、職員11名の計44名で国際大学で行われた「ふれあいスポーツ大会」に参加しました。台風や新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和元年より中止となっており4年ぶりの開催となりました。大玉転がしや運だめしはペアになり協力して1番を目指し、綱くぐりは綱と格闘しながらゴールに向かって一生懸命走っている姿が印象的でした。また、綱引きや玉入れは皆で団結して勝利を目指す姿が見られました。熱い中でしたが、楽しそうな表情がたくさん見られ、「来年も参加したい」と子どもたちの言葉も聞かれました。



九州地区地域生活者交流会（福岡大会）

9月9日(土)、4年ぶりに開催された九州地区地域生活者交流会（福岡大会）に利用者11名、職員3名の計14名で参加しました。出発前には、久しぶりの県外への外出に心はずませながら旅行の準備や、交流会のしおりを見ては「お土産誰に買おうかな」という言葉も聞かれました。

全体会では「命をつなぐ、わたしの防災・みんなの防災」の講演を聞き、身近に関わる問題でとても興味のある講演でした。交流会では、おしゃれな食事をいただきながら、○×クイズや抽選会で盛り上がり、私たちも抽選に当たりました。他事業所の方とも名刺交換をきっかけに会話が弾み楽しい時間を送る事ができました。準備した名刺もすぐに無くなり、来年の利用者交流会は多めに名刺を持って参加したいと感想も聞かれました。

地域生活支援センター あさひが丘



旭福祉センター



川上小学校奉仕作業（草払い）

8月17日(木)鹿児島市立川上小学校の除草作業を行いました。生徒の方々が安全に過ごせるよう、フェンス周辺の草刈りと枝の剪定作業を丁寧に進めていきました。作業後は見晴らしも良くなり、保護者や先生方の目が届きやすい環境を作ることが出来たのではないかと思います。休憩時間には、夏休み中の生徒さんと交流するなど充実した時間の中で作業を行うことが出来ました。

●マルヤガーデンズ 子育てセミナー

7月11日(火)、マルヤガーデンズにて、子育てセミナー「ペアレント・プログラムを活かした、子どもを褒めて伸ばす育て方」を実施しました。当日は10名の方が参加しており、講話を通して子どもを褒める視点について学びを深めました。講話後、参加者同士で子育てにおける悩みを共有し合い、和気あいあいとした雰囲気でのセミナーとなりました。今後、9月～10月にかけて、マルヤガーデンズにて全6回における子育て支援講座「ペアレント・プログラム」を実施する予定です。講話や参加者同士のペアワークを通し、子育てのヒントを見つけながら、充実した時間となるよう企画しています。

●春山地区夏祭り

7月15日(土)に春山地区夏祭り(六月灯)が開催されました。コロナ規制緩和を受け、当日朝からステージの組み立てがあり、本番では様々な演舞が披露されました。

今回の夏祭りでは棒踊り保存会から焼き鳥の出店がありましたが、棒踊りの練習に参加しているGH利用者の片野優作さん、今村光良さんの2名も出店のお手伝いを行いました。

また、駄菓子屋ハルちゃんの出店もあり、GH利用者の養父嘉信さん、大山勇基さんが販売の手伝いをし、それぞれ地域の方と楽しい交流の機会となりました。

大盛況の夏祭りでしたが、今後も地域住民の一員として行事への積極的な参加を行い、地域の方々との交流を図っていききたいと思います。

●ワークショップ

7月17日(月)、第19回ワークショップを開催しました。当日は、26名の方が参加され、フラワーボトル創作、陶芸体験、アルファベットボード創作、レザークラフト、レジン創作を行いました。お子様連れの参加も多く、皆さん世界に一つだけの作品を思い思いに夢中で作成していました。「楽しい」との言葉と共に笑顔も多く見られたワークショップとなりました。

●青空市

7月17日(月)、第10回青空市を開催しました。当日は非常に暑く客足が心配でしたが、多数来場していただきました。その中で、「いつも、あさひが丘のイベントに行っています。」と言われた地域の方がいて、あさひが丘の取り組みが地域に浸透してきたのだと感じました。また、地域の方から提供していただいた野菜、駄菓子屋ハルちゃんのお菓子、キッチンカーのカレー等、いずれも好評でした。

●児童部キャンプ

7月31日(月)～8月1日(火)の一泊二日で、入所

児童14名、職員7名の計21名で、さつま町にある北薩広域公園へキャンプに出掛けました。コロナ禍ということもあり4年ぶりの実施となりました。キャンプ中は遊具で遊んだり、バーベキューをしたり、皆でお風呂に入ったりと、久しぶりのキャンプを満喫しました。

●旭福祉センター買物実習

8月1日(火)～4日(金)の4日間、鴨池方面と始良方面に分かれて買物実習に行きました。コロナの影響の為に実施出来ていませんでしたが、久しぶりの外出で自分の好きな服や靴などを選んだり、好きな物を食べて笑顔あふれる買物実習になりました。

●アンリーシュマルシェ

8月5日(土)～8月6日(日)の2日間、山形屋1号館3階のアンリーシュにて「WAQ WAQ SQUARE」の販売会がありました。ASAHIYAからは、保冷バッグやトートバッグ、レザー雑貨を出品しました。特に保冷バッグが好評で、お褒めの言葉をいただくことができました。ミニミニ夏祭りも同時開催され、とてもにぎやかな販売会となりました！

●かごしま錦江湾サマーナイト花火大会

8月19日(土)サマーナイト花火大会に旭福祉センターの職員と利用者6名で行ってきました。久しぶりの外出だったので利用者も嬉しそうでした。花火打ち上げの時間前に屋台へ行って、かき氷、たい焼き、ポテトなどを買って美味しく食べながら花火を待ちました。花火も大満足したようで特に“ドローンでの花火”の時は歓声を上げて拍手をしていました。帰りの車の中では花火の話題でもちきりでした。

●旭福祉センタービアガーデン

9月1日(金)、9月16日(土)の2日間に分けて、利用者の皆さんと新人職員との交流を目的としたビアガーデンがCafé NODOKAで開催されました。初めのうちは日ごろのコロナ対策の黙食が習慣になっていたのか会話もなかなか弾みませんでしたが、しばらくするとおいしい料理に心もお腹も満たされ、アルコールが入ると楽しい会話の輪がぐっと広がりました。

●あさひが丘夏祭り

9月22日(金)、あさひが丘夏祭りを開催しました。昨年、人気だったくじ引き、ペットボトルポウリング、おみこしに加え、今年は新たに的当てゲーム(射的)も行いました。的当てゲームでは、吸盤の棒が当たった的が倒れるとみんなで一緒に喜んでいる姿が見られました。夏祭り会場全体が賑やかで、笑顔がたくさん溢れる夏祭りになりました。



「ばくのナン」

利用者考案商品から新作登場!!

- ①チーズたっぷりのチーズナン
- ②男の黒カレーとチーズの組み合わせが相性抜群!!
黒カレーナン
- ③癖になる美味しさの明太チーズナン

試作を繰り返して商品化しました。温めて食べたならお絶品です!!

ぜひご賞味ください!!



「ばくのナン」シリーズ

- ①チーズナン 250円(税込)
- ②黒カレーナン 250円(税込)
- ③明太チーズナン 期間限定価格 300円(税込)

カフェ&レストラン
NODOKA
のどか

シェフ特製のスープカレーです!!

スパイシーな辛さがたまらない一品です。

スープカレーを食べにNODOKAに来るお客様も…(^^)

リピーター続出のスープカレーぜひご賞味ください!!



スープカレー 1,200円(税込)

あすもね家の人気メニューの一つである、「わサンデー」がリニューアルされました。これまで抹茶ミルクゼリーを使用していましたが、抹茶100%のゼリーに変更し風味豊かな味わいとなっています。利用者の皆さんが丁寧に混ぜながら仕込んだ抹茶ゼリーとぷるんとしたわらび餅はとってもやさしい味になっています。つぶ感のあるあんことコーンフレーク、ほんのり甘い生クリーム、黒蜜、きな粉との相性がばっちりです。

お近くまで来られた際は、是非あすもね家に足を運んでください。

〒892-0853 鹿児島市城山5-1

かごしまメルヘン館喫茶室

☎070-8823-0051

営業時間 平日 11:00~17:00 (L.O 16:30)

※土日祝 10:00~17:00 (L.O 16:30)

定休日 火曜日(※メルヘン館の営業日に準ずる)



わサンデー 660円(税込)

ぎやらりーASAHIYAからの
お知らせ

新作ポーチが出来ました!!

デニム生地風の爽やかな装いに、キリンのポップン君が可愛く並んでいます。

日常使いしやすく、筆箱や小物入れなど用途は様々です。

ぜひこの機会に、お買い求めください

ポーチ 800円(税込)



ぎやらりーASAHIYA

インスタ絶賛更新中!

【#gallery.asahiya】



社会福祉法人 落穂会

鹿児島市皆与志町 2503 番地

<http://www.asahigaokagakuen.jp/>

<http://www.asahi-center.co>

障害児入所施設

あさひが丘学園

TEL 099-238-4821

障害者支援施設

あさひが丘

TEL 099-238-4821

地域生活支援センター

あさひが丘

TEL 099-243-1112

障害者支援施設

旭福祉センター

TEL 099-244-3551

障害福祉サービス事業

第二旭福祉センター

TEL 099-244-3551